

つながる・つなぐ

麻生田小だより No.11

令和7年2月3日

文責 校長：阪本 雅弘

【教育指針】礼・学・体

【校訓】かしこく 強く 美しく

【教育目標】いつまでも続く未来を創るために、自ら考動する子どもの育成

【学校経営スローガン】「子ども一人一人が輝き、笑顔があふれ、毎日来たくなる学校」



「毎日の生活が将来の健康生活につながります ～一日元気よく過ごすために、メディアの使用時間について考えよう～

このようなテーマで、今年度は学校保健員会で、保健、体育、給食委員会がタッグを組んで、スマートフォン、タブレット、ゲームなどのメディアとの付き合い方について、各学級で目標を決めて取り組んできました。1月23日に、第2回学校保健委員会を開催しました。講師として、モバイルネットワーク研究所代表の松川由美様に、4、5、6年生向けにお話をいただきました。



インターネットやSNSの使い方について、子どもたちにわかりやすく今後気を付けていかなければ**危険!**という視点で話がありました。

「自撮りをした画像をSNSで友だちに送るのは、いいこと?悪いこと?」

という問いに対しては、友だち一人だけに送ってもコピーされて、流出することがある。ネットストーカー被害、画像にいたずらをされて無断使用される、位置情報がばれることがあり、本当のストーカー被害に発展するケースもあることなど教えてもらいました。また、「インターネットにのせてはダメなもの」として、「個人情報」、「悪口」、「うその情報」、「危ない情報(例えば爆弾予告など)」、「裸の画像」などをあげられました。大人になってから気を付けておかないといけないことばかりです。

また、LINEなどで友だちとやり取りする中で、入力間違いや言葉足らずでトラブルになるケースがとても多いそうです。例えば、「なんで来る?」という文字からは、受け取った側は「手段」「理由」どっち?となる。相手にもわかるようにすること、人はそれぞれ感覚が違う、相手の気持ちを考えてやり取りすることが大切と。いじめるつもりはなくても傷つけることがあることをわかっておく必要があります。自分がされたいやなことはいらない、「自分は許せる=相手も許せる」ではない、という言葉はとても印象的でした。ぜひ、保護者の方にも聞いていただきたい、貴重なお話でした。宿題として子どもたちに「家庭で今日の内容について話すこと」と出されましたが、話題になりましたでしょうか。私たちの生活はSNS、スマホが欠かせない存在になっています。常に危機感を持って正しい使い方をしてほしいと思います。松川様は、最後に「**家庭でのルールが大切。家庭でのルールは何のためにあるのか。**」と子どもたちに伝えられました。



保健室前のポスター「おしゃれトラブル」

「麻生田小のくらし」今一度ご確認ください

毎年、「学校指定物品及び校則見直し検討委員会」を2月初旬に実施しています。今年度も2月6日に5、6年児童代表、保護者代表、学校評議員さん、教職員でこの会を行います。毎年、児童、保護者の皆様にも事前アンケートを実施し、意見・要望等をあげてもらっていますが、約90%の児童、保護者から「今のままでよい」という回答をもらっています。今年度は例年に比べ、保護者の方からの回答少なかったのですが、子どもたちからいくつか要望があり、企画委員会、代表委員会で検討してもらい、その後、職員会議で検討しました。子どもたちに考えてほしいことは、今ある「麻生田小のくらし」が何のためにあるのか、守ることができているのか、ということです。「きまりはあるけど、自分には関係ない」という人がたくさんいれば、なし崩しになっていきます。大人の社会でも同じことです。「麻生田小のくらし」の中に「奇抜な髪型にしたり、髪を染めたり、パーマをかけたりしません」とあります。保護者の方から「髪を染めている子が多いと思います」というご意見がありました。左は「おしゃれトラブル」のポスターです。ピアスや髪染め、パーマなど子どもたちの健康被害について「**おしゃれは大人になってからにしよう!**」とあります。